

令和 5 年 3 月 31 日

あなたが支える市民活動応援事業実績報告書

大分市長職務代理者  
大分市副市長 久 渡 晃  
大分市長 ~~佐藤 樹一郎~~ 殿

所在地 大分市明野北2-9-7  
カントール明野式番館409  
団体名 障がい者水泳クラブあすなろ  
代表者氏名 藤本 正広  
電 話 090-1160-8684  
担当 [REDACTED]

あなたが支える市民活動応援事業補助金交付要綱第13条の規定により、下記のとおり報告します。

記

1. 交付決定年月日 令和 4 年 9 月 1 日  
交付決定番号 協働第 877 号
2. 事業名 障がい者・児の水泳競技力の向上と他クラブ及び健常者・児との交流事業
3. 補助金の交付決定通知額 300,000 円
4. 補助金の概算交付額 0 円
5. 補助金の精算額 300,000 円
6. 事業の成果
1. 健常者・児との交流事業  
4月2日～3日 宿泊交流会実施(参加者 30名)  
12月11日 クリスマス会(参加者 44名)
  2. 他クラブとの交流事業  
(強化練習) 5月8日 6月5日 7月10日 8月11日 9月4日 10月2日  
(記録会) 7月17日九州水連記録会 10月9日マスターズ協賛による記録会  
3月12日フレンドリー記録
  3. 競技力の向上  
5月22日 第17回大分県障がい者スポーツ大会  
6月19日 第33回九州障がい者水泳選手権北九州大会  
10月29日～31日 全国障がい者スポーツ栃木大会  
11月12日～13日 日本パラ長野大会
7. 添付書類 (1)あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業報告書  
(2)あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業収支決算書  
(3)活動目標に関する報告書  
(4)その他市長が必要と認める書類



あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業報告書

団 体 名	障がい者水泳クラブあすなる			
事 業 名	障がい者・児の水泳競技力の向上と他クラブ及び健常者・児との交流事業			
主な活動地域	<p>※ 該当する□にチェックしてください。【】の中は校区となっています。</p> <p><input type="checkbox"/> 大分中央【金池、荷揚、長浜、中島、住吉】</p> <p><input type="checkbox"/> 大分西部【春日、大道、西の台、八幡】</p> <p><input type="checkbox"/> 南大分【豊府、南大分、城南、荏隈】 2</p> <p><input type="checkbox"/> 滝尾【滝尾】</p> <p><input type="checkbox"/> 城東・原川【津留、東大分、日岡、桃園】</p> <p><input type="checkbox"/> 明野【明野】</p> <p><input type="checkbox"/> 鶴崎【鶴崎、三佐、別保、明治、高田、松岡、川添】</p> <p><input type="checkbox"/> 大南【戸次、判田、竹中、吉野】</p> <p><input type="checkbox"/> 植田【植田、宗方、横瀬、東植田、寒田、敷戸、駕野、賀来】</p> <p><input type="checkbox"/> 大在【大在西、大在】</p> <p><input type="checkbox"/> 坂ノ市【坂ノ市、小佐井、丹生】</p> <p><input type="checkbox"/> 佐賀関【本神崎、木佐上、大志生木、佐賀関、一尺屋】</p> <p><input type="checkbox"/> 野津原【東部、中部、西部、今市】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 市内全域</p>			
<p>実施時期 実施場所 実施内容 (目的・経過等)</p> <p>※別紙添付可</p>	時期 (月)	実施場所	受 益 対象者数	実 施 内 容 ※目的・経過等をできるだけ詳細に
	2022 4月	福祉 センター  市営 プール	延人数  1,800人	<p>1. 水泳を通じて体力づくりと 運動機能の維持向上を図る 2022年4月1日～2023年3月31日 対象者延べ人数 約1,800名</p> <p>2. 他クラブ及び健常者・児との交流 4月3日～4日 宿泊交流会 5月～10月 強化練習 7月17日 九州連盟記録会 10月9日 マスターズ記録会 12月11日 クリスマス会 3月12日 フレンドリー記録会</p> <p>3. 各種競技会への参加 5月22日 大分県障がい者スポーツ 6月19日 九州障がい者水泳選手権 10月29日 全国障がい者スポーツ 11月12日 日本パラ長野大会 12月11日 あすなるクラブ記録会</p>

<p>使用した 広報手段と その効果</p>	<p>使用した広報手段（チラシの作成、ホームページ、パンフレットの作成等）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 大分県身体障がい者福祉センター内の掲示板での情報提供（各種競技大会の結果報告、広報誌の張り出し等）</li> <li>2. 障がい児の親子水泳教室でのクチコミによる広報活動</li> </ol> <p>今年度行った広報の効果</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. あすなるクラブへの応援・支援の輪が広がっている。</li> <li>2. 昨年、親子水泳教室から2名の入部があった（聴覚障がい児）。</li> <li>3. 今年、親子水泳教室から2名の入部希望がある（精神障がい児）。</li> </ol>
<p>事業の成果</p>	<p>地域への効果について（事業を実施した結果、対象地域にどのような効果があらわれたのかを、できるだけ詳細に記入してください。）</p> <p>障がい児の親子水泳教室の入会者が年々増えてきている。</p> <p>あすなるクラブへの入会希望者は増えているが、全ての人を受け入れられるだけの指導者の数が不足している。</p> <p>市民への効果について（市民にとってどのような効果があったか、市民福祉の向上にどうつながったのかを、できるだけ詳細に記入してください。）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 障がい者・児のスポーツ認知・普及について 肢体・聴覚・視覚・知的・精神・健常児と一緒に練習をしているのは全国的に類のないクラブとして注目をされている。</li> <li>2. 第17回大分県障がい者スポーツ大会（参加者 8名） 第33回九州障がい者水泳選手権北九州大会（参加者 6名） 参加種目 18種目 （1位 15種目）（大会記録 4種目）（大会新記録 3種目）</li> <li>3. 全国障がい者スポーツ栃木大会（参加者 1名）金メダル2個</li> <li>4. 日本パラ長野大会（参加者 2名）金メダル1個 銅メダル2個</li> </ol>
<p>来年度に 向けた課題</p>	<p>ボランティア活動に協力をしてくれる指導者の数が不足している。</p> <p>福祉センターは築37年を迎え老朽化が進み設備等の突発故障が多発している。 定期的なメンテナンスをお願いしているが、県のスポーツ協会からの回答待ちとなっている。</p>

# あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業収支決算書

事業の名称：障がい者・児の水泳競技力の向上と他クラブ及び健常者・児との交流事業

## 1 【収入】 (単位：円)

項目	金額	説明(積算等)
補助金収入	300,000円	あなたが支える市民活動応援事業補助金
会費収入	278,771円	会費の一部
事業収入		
寄附金収入		
その他		
合計	578,771円	

## 2 【支出】 (単位：円)

項目	金額	説明(積算等)
報償費	29,000円	競技会・記録会への引率費 (J-テ等報酬)
旅費	✓ 164,910円	運行明細書と運行記録簿を参照 <span style="float: right;">[補助対象外 8,000円]</span>
消耗品費	✓ 154,000円	スイミングキャップ・ユニホーム等
燃料費		
食糧費		
印刷製本費		
通信運搬費		
広告料	✓ 30,000円	競技会・記録会への広告料
保険料	✓ 18,850円	スポーツ保険・ボランティア保険
手数料・委託費	✓ 22,000円	連盟登録費・リレー参加費
使用料・賃借料	✓ 153,950円	健常者・児との交流事業の賃借料
原材料費		
備品購入費	✓ 6,061円	プリンターインク
合計	578,771円	[補助対象経費 570,771円]

備考 補助金の交付対象となる事業に要する経費を記入してください。

なお、実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書を添付する必要があります。

# 活動目標報告書

## 1 自己収益（※）拡大に向けて

(1) 目標としていた自己収益金の総額  円

(2) 今年度の自己収益金の総額  円

(3) 自己収益拡大に向けた具体的な取り組み  
(目標を達成できなかった場合は、その理由と改善策)

障がい児の初級指導は1人の指導者で2～3名が限界である。  
安全と安心を疎かに出来ないなので収益の拡大は見込めない。  
収益を拡大させるためには指導者の増員が必要である。

記入例：①会員加入の呼び掛けを行った結果、入会者の獲得に成功し、会費収入を増加させることができた。

②協賛企業の呼び掛けをこれまで以上に実施してきたが、景気の流れに左右されることもあり、新規開拓はできなかった。

③来年度も企業への呼び掛けを継続し、企業協賛金の拡大に努めていきたい。 など

## 2 受益対象者を増加させるための取り組み

(1) 目標としていた受益対象者数  人 (延べ人数)

(2) 今年度の受益対象者数  人 (延べ人数)

(3) 受益対象者数の増加に向けた具体的な取り組み  
(目標を達成できなかった場合は、その理由と改善策)

コロナの影響で参加率が減少した。  
設備のトラブルでボールが使えなかった。